

平成29年度 事業計画所

平成 29 年度事業実施計画

1 栽培漁業指導事業

(1) 講座・セミナー・育成等事業（研修指導事業費）

栽培漁業の技術的課題に関する研修を目的とした事業のうち、「漁業生産技術研修会」は、事業の周知を図り、年 2 回以上の開催を目指す。「育てる漁業研究会」は、アンケート結果などを参考に、より一層の内容等の充実を図り、平成 30 年 1 月に開催する。

また、昨年度始めた「全道シシャモ勉強会」などの取組みについて、関係部門・関係機関の連携協力の下、充実を図るとともに新たな試みを模索する。

(2) 調査研究・情報提供等事業

機関紙「育てる漁業」の発行（広報事業費）

栽培漁業に関する先進的な取組み、試験研究、地域の活動や人物の紹介等を掲載した機関紙「育てる漁業」を年 4 回発行し、配布する。

北海道沿岸漁場海況速報事業（広報事業費）

栽培漁業推進上の基礎資料とするため、道内の沿岸漁場 45 か所において毎日観測した水温を旬ごとにまとめ、過去 10 年間の平均水温と対比して速報するほか、年間の水温、気象を取りまとめ、ホームページで公開する。

また、インターネットを用いたりリアルタイムの水温情報提供は、現在の 8 観測点からの増加に取組み、情報提供の更なる充実化を図る。

種苗生産事業実績報告（広報事業費）

当栽培公社が行っているヒラメ、マツカワ、ニシン、クロソイ、アワビ、マナマコ等の種苗生産について、平成 27 年度事業の経過及び実績を報告書にまとめ、ホームページに掲載する。

技術ノウハウの収集や情報の提供等（栽培基金事業指導費）

事業開発室では、「栽培漁業に関する教育普及、技術指導及び情報の提供」に必要なデータや知見、各種ノウハウや取組事例を調査、収集し、それらの活用に向けた検討と情報提供を行うと共に、関係機関との調整等を通じて、公益事業の一層の充実や新たな発展に資する。

調査研究事業

() 種苗生産技術等開発試験調査（技術開発試験調査事業費）

伊達事業所において取組んでいるマボヤ採苗試験は、種苗供給の要望の声が多いことから、平成 29 年度から増産を図り、試験販売する。供給先は、これまで養殖試験種苗の供給実績のある噴火湾から桧山海域とする。

また、昨年から取組んだ熊石事業所における二枚貝（バカガイ等）の小規模種苗生産試験は継続し、更に多くのデータの収集に努める。

() 共同研究などの取組み（調査研究費）

栽培漁業の推進に資するための広範なテーマから、地域の活動団体、大学、研究機関と共同した研究事業などに取り組む。

(3) 栽培漁業指導事業予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増 減
研 修 指 導 事 業	1,037	1,085	48
広 報 事 業	3,717	3,717	0
技 術 開 発 試 験 調 査 事 業	1,505	411	1,094
栽 培 漁 業 基 金 事 業 指 導 費	4,508	5,082	574
調 査 研 究 費	5,000	5,000	0
合 計	15,767	15,295	472

2 栽培漁業推進事業

2-1 ヒラメ種苗生産事業

(1) 事業の概要

昨年度から放流サイズや生産時期の変更による事業の見直しに着手したが、ウイルス性疾病の発生により、経費節減効果について十分検証できなかった。

今年度は、ウイルス防除対策として紫外線殺菌装置の導入などを図り、節減効果の検証を進める。生産体制は従来どおり羽幌、瀬棚両事業所において種苗生産、中間育成を行い、日本海北部及び南部海域に全長 50 mm 種苗をそれぞれ 1,100 千尾、合計 2,200 千尾を放流する。

(2) 種苗生産、放流計画

羽幌事業所	全長 30 mm 種苗生産 1,470 千尾	中間育成	全長 50 mm 種苗放流 1,100 千尾
-------	---------------------------	------	---------------------------

瀬棚事業所	全長 30 mm 種苗生産 1,470 千尾	中間育成	全長 50 mm 種苗放流 1,100 千尾
-------	---------------------------	------	---------------------------

(3) 地区協議会別放流数

(単位：千尾)

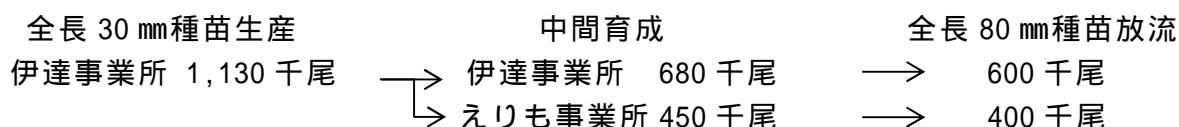
区 分	地区協議会	放流尾数	協議会内放流数
羽幌事業所	宗 谷	290	各協議会で決定する
	留 萌	400	
	石狩・後志北部	410	
	小 計	1,100	
瀬棚事業所	後志南部	370	各協議会で決定する
	檜 山	350	
	津軽海峡	380	
	小 計	1,100	
合 計		2,200	

2 - 2 マツカワ種苗生産事業

(1) 事業の概要

伊達事業所において全長 30 mm 種苗を 1,330 千尾生産し、伊達事業所及びえりも事業所において中間育成を行い、両事業所合わせて全長 80 mm 種苗 1,000 千尾をえりも以西海域に放流するほか、えりも以東海域に全長 50 mm 種苗 100 千尾、全長 80 mm 種苗 80 千尾の供給を行う。

(2) 種苗生産、放流計画(えりも以西海域)

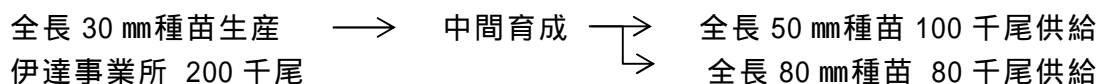


(3) 地区協議会別放流数(えりも以西海域)

(単位：千尾)

区 分	地区協議会	放流尾数	協議会内放流数
伊達事業所	渡島東部海域栽培漁業協議会	50	各協議会で 決定する
	噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	175	
	噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会	175	
	胆振太平洋海域漁業振興協議会	200	
えりも事業所	日高管内栽培漁業振興協議会	400	
合 計		1,000	

(4) 種苗生産、供給計画(えりも以東海域)



(5) 地区協議会別供給数(えりも以東海域)

(単位：千尾)

区 分	供 給 先	供 給 尾 数		備 考
		50mm	80mm	
伊達事業所	根室管内栽培漁業推進協議会	50		中間育成種苗
	十勝管内栽培漁業推進協議会	50		
	釧路管内栽培漁業推進協議会		80	直接放流
合 計		100	80	

2 - 3 栽培漁業振興事業(種苗生産等支援助成事業)

地域の協議会等が実施する種苗生産、中間育成、放流等の事業に対して、振興基金運用益から助成する。

事業実施計画

(単位：千円)

事業主体	対象魚種	助成対象 事業費	助成金額
島牧漁業協同組合	マゾイ	3,671	1,712
津軽海峡地域水産人工種育苗供給連絡協議会	クロソイ	5,723	2,703
砂原漁業協同組合青年部	マナマコ	1,105	540
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	クロソイ	7,928	3,755
ひだか漁業協同組合	ハタハタ・クロソイ	5,023	2,325
えりも町栽培漁業振興協議会	マガレイ	1,458	675
えりも漁業協同組合	マナマコ	1,352	629
日高管内栽培漁業推進協議会	ハタハタ	7,936	3,674
十勝管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	7,494	4,188
大津漁業協同組合	クロソイ	2,332	1,096
根室市	ハナサガニ・ホカイビ	2,638	1,221
根室管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	4,605	2,327
根室管内ニシン種苗生産運営委員会	ニシン	18,476	8,703
野付漁業協同組合	マナマコ	749	367
	クロガレイ	828	383
羅臼漁業協同組合	マガレイ	1,457	660
	マナマコ	1,348	600
網走市水産振興協議会	マナマコ	601	278
網走漁業協同組合	ホッキガイ	2,096	970
常呂漁業協同組合	マナマコ	1,101	510
沙留漁業協同組合	マナマコ	781	375
宗谷漁業協同組合	マナマコ	3,359	1,410
北るもい漁業協同組合	マナマコ	269	130
	ハタハタ	515	250
留萌市	マナマコ	1,000	445
余市郡漁業協同組合	マナマコ	2,376	1,100
東しゃこたん漁業協同組合	マナマコ	4,293	1,987
島牧漁業協同組合	マナマコ	2,063	948
ひやま漁業協同組合乙部マナマコ振興協議会	マナマコ	2,700	1,250
室蘭漁業協同組合	マナマコ	2,305	1,067
根室漁業協同組合	マナマコ	2,157	1,004
紋別漁業協同組合	マナマコ	3,970	1,885
増毛漁業協同組合	マナマコ	6,942	3,075
合計 30 団体	12 魚種	110,396	52,242

4 水産多面的機能発揮対策事業

藻場や干潟の保全を中心とした環境・生態系の維持回復や漁村の活性化、海の安全確保に関する漁業者等が行う活動を支援するため、当法人が地域協議会として事業主体となり事業実施に必要な経費を助成する。

助成件数	133件
助成額	512,512千円
協議会運営費	15,000千円

5 エゾアワビ種苗生産事業

平成28年秋に低水温塊の流入による成長停滞が起こったため、平成29年度春供給予定の種苗は、小型のサイズで供給とする。供給予定数は、平成28年産殻長20～35mm種苗783.5千個体及び平成29年産殻長15mm種苗250千個体の合計1,033.5千個体である。

供給サイズ別内訳

(単位：千個)

区分	15mm	20mm	25mm	30mm	35mm	計
平成28年産		40	558.3	159.2	26	783.5
平成29年産	250					250
合計	250	40	558.3	159.2	26	1,033.5

6 日本海ニシン栽培漁業総合対策事業

(1) 日本海ニシン種苗生産事業

「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗2,000千尾を生産している。平成29年度も、石狩湾管内の沿岸で漁獲された親魚から採卵し、宗谷、留萌、石狩、後志北部管内の海域に供給する。

(2) 後志南部ニシン種苗生産事業

「後志南部地域ニシン資源対策協議会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗400千尾を生産している。平成29年度も、後志南部(積丹以南～島牧以北)海域で漁獲された親魚から採卵し、同海域に供給する。

(3) 桧山ニシン種苗生産事業

「ひやま地域ニシン復興対策協議会」の要望により、瀬棚事業所において、全長60mm種苗1,000千尾を生産している。平成29年度も、桧山海域で漁獲された親魚から採卵し、同海域に供給する。

事業所別供給数

(単位：千円)

区分	供給先	放流尾数
羽幌事業所	日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会	2,000
	後志南部地域ニシン資源対策協議会	400
瀬棚事業所	ひやま地域ニシン復興対策協議会	1,000

7 クロソイ種苗生産事業

会員等からの要望により、瀬棚事業所において全長 30 mm種苗 216 千尾を生産し、要望先へ供給する。

供給先	供給尾数
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	70
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	126
大津漁業協同組合	20
合計	216

8 マナマコ種苗生産事業

会員等からの要望により、熊石事業所、瀬棚事業所及び羽幌事業所において、全長 10 mm以上の種苗 1,405.7 千個を道内各地の要望先に供給する。

区分	供給箇所数(箇所)	供給個数
熊石事業所	16	865.2
瀬棚事業所	4	240
羽幌事業所	2	300.5
	22	1,405.7

9 ハタハタ種苗生産事業

日高管内栽培漁業推進協議会からの委託により、えりも事業所においてハタハタの全長 25 mm種苗 3,800 千尾を生産し、供給する。

10 調査事業

調査事業の実施方針

次の基本的な考え方を、調査事業の実施方針とする。

1. 会社は、全道の漁業協同組合と沿岸市町村を会員とする公益社団法人であることから、その基本的なスタンスは、漁業者の視点に立って考える。
2. 受託事業については、精度の高い調査と公正な判断による高品質な報告書を作成するとともに、漁業環境の保全と漁業影響を防止するための考え方を提言する。
3. 会社は、事業実施者と漁業者との間にあって、問題の解決に向けての調整と提言を行う。

平成 29 年度調査事業受託見込み

平成 29 年度の調査事業は、次の 3 点から積算した結果、受託見込みを、件数 39 件、金額 630,000,000 円とする。

1. 平成 27 年度から 28 年度までにおける受託実績の推移と傾向。
2. 継続事業の受託実績。
3. 新規受託事業の推移と傾向。

受託先	件数	受託金額(円)
国(開発建設部等)	13	421,000,000
道(建設管理部等)	13	172,000,000
公社会員	9	17,000,000
その他(一般企業)	4	20,000,000
合計	39	630,000,000

平成 29 年度 調査事業受託見込み